

あらゆる手段つし
国の責任で解決を

消えた年金

日本共産党が緊急要求

年金の記録が宙にうき、もらえるはずの年金が減額されたり、もらえなかったりする「消えた年金」問題。いま、不安と怒りがひろがっています。日本共産党は、国の責任で問題を解決することを要求します。

① 加入者全員、無年金者ふくめ実態の調査を

政府は、年金受給者について調査するといっていますが、対象が限定されており不十分です。すべての加入者と無年金者もふくめるべきです。

② “当事者まかせ”でなく、政府がみずから解決を

政府は、“年金記録が正しいかどうか、自分で思い出せ、ちがっていたら申告しろ”と責任を国民に転嫁していますが許されません。政府が保有する年金の記録の情報を提供し、問題を解決すべきです。

③ “記録の証拠がないと門前払い”は許されない

年金記録が消失している被害者について、文書による記録証拠がなくても、国が責任をもって調査し、状況証拠にもとづいて解決するべきです。

④ 国民に身近な相談窓口をただらに

国民の不安を解消するために、特別の体制をとることが必要です。

厚労省は10年前から知っていたのに

「基礎年金番号」制度を導入した10年前、厚労省はすでに、「年金番号」とあわない納付記録が膨大な数にのぼることに気づいていたはずですが、ところが、その後十分な手だてをとらないままできました。

社会保険庁解体は責任のがれ

政府は「払ったことを自分で立証しろ」などと、年金の支払いを拒否。保険料徴収は「貯金の差し押さえ」などサラ金まがいのことまでしながら...

そのうえ、社会保険庁を解体しようとしています。社保庁を民間に丸投げすることは、国が責任をもって解決することを不可能にするものであり許されません。

社保庁解体で責任のがれは許されません

6月市議会
質問します

6月定例野洲市議会は、4日から始まりました。12日から議案審議や一般質問が行われます。日本共産党野洲市議会議員団(小菅六雄・野並享子市議)は、暮らしの要求実現へがんばります。傍聴にぜひお越しください。

小菅六雄市議

- 新幹線栗東新駅と市長の政治責任について
- 同和行政の終結について
- 市の事務事業評価について

野並享子市議

- 保育園の3人目の保育料の無料化を
- 放課後子どもプランについて
- 子育て支援センターについて

国保税の最高限度額を53万円から56万円に引き上げ議案。学校(園)の給食の食器購入議案。琵琶湖を市町の面積に加える議案などが提案されています。市民の立場で審議します。

- 6月 4日(月) 本会議(議案提案)
- 12日(火) 本会議(議案質疑・一般質問)
- 13日(水) 本会議(一般質問)
- 14日(木) 本会議(一般質問)
- 18日(月) 総務常任委員会(議案審査)

- 6月 19日(火) 常任委員会(議案審査)
- 22日(金) 本会議(議案討論、採決)

市議会は、どなたも傍聴できます。ぜひとも、お越しください。(時間は、いずれも午前9時からです)

やす民報

日本共産党野洲市委員会
2007年6月10日 124

暮らしのご相談、ご要望
お寄せください

市会議員 小菅六雄 (電話) 589-4971 (FAX) 589-6184
(メール) shgdy177@ybb.ne.jp (HP) <http://www.yasusigi.net/~kosuga/>

市会議員 野並享子 (電話) 587-0985 (FAX) 586-1102
(メール) no73kyo_ko@yahoo.co.jp (HP) <http://www.yasusigi.net/~nonami/>